

『AI副住職くん』寺務エージェント化 — お寺を取り巻く現状と、本サービスについて

株式会社菩提樹
2026年8月

本資料は、お寺を取り巻く現状と、宗教法人にかかわる制度、そして本サービスの概要をまとめたものです。数値には公開資料の出典を付しています。用語のミニ解説も収録しました。

1. 背景 — お寺を取り巻く現実

- **約7万7千寺** 全国の寺院（仏教系の単位宗教法人）は **76,701法人**（令和4年12月31日現在）。出典：文化庁『宗教年鑑』／宗教統計調査
- **2040年に約4割** 今後25年で、全国の寺院の**約4割（およそ3万寺）が消滅する可能性**との推計。出典：國學院大学・石井研士教授の分析（東洋経済オンライン／日本経済新聞ほかが報道）
- **宗派別の消滅率** 2040年推計で、高野山真言宗46％／曹洞宗42％／真言宗豊山派39％／天台宗36％。出典：石井研士教授
- **経営の厳しさ** 「住職の約4割が年収300万円以下」といった寺院経営の実情も報じられている。出典：PRESIDENT Online ほか

＝ 後継者難・檀家減少・担い手の疲弊は、個々の寺院の努力だけでは抗いがたい**構造的な課題**になっています。そして住職を最も疲弊させているのが、表の法務・供養ではなく**“裏側の事務”**だ、というのが本サービスの出発点です。

2. 見落とされがちな“法的義務” — 宗教法人の会計・提出

提出義務	宗教法人は毎会計年度の終了後 4か月以内 に、役員名簿・財産目録・収支計算書などの写しを所轄庁へ提出（ 宗教法人法25条4項 ）。規模の大小を問わず すべての宗教法人 が対象。
提出先	所轄庁＝原則、主たる事務所所在地の 都道府県知事 。
罰則	提出等を怠った場合、代表役員に 10万円以下の過料 （同法88条）。
義務の起点	この写しの提出義務は 平成7（1995）年12月改正 で新設された。
免除の経過措置	公益事業以外の事業がなく、収入が 8,000万円以下 の法人は、当分の間、収支計算書の作成を要しない（役員名簿・財産目録は必須）。
一次資料	文化庁「宗教法人のための運営ガイドブック」（宗務課）。

＝ 全法人の義務であるにもかかわらず、「様式が分からない」「期限を失念」「そもそも義務を知らない」という声現場に多く、“**知らないと過料**”という盲点になっています。

3. サービスの概要（要点）

名称	AI副住職くん（寺院向けLINE AIサービス）
提供開始	2026年4月に30機能を統合して全国提供開始。2026年8月に“寺務エージェント”機能を追加。
今回の新機能	① 気まずさゼロ徴収（寺務所名義・承認制）／② 会計・決算・所轄庁提出の自動化／③ レシートOCR×勘定科目AI／④ 事務のメニュー（タップUX）／檀家台帳／AI副住職くんホーム
主な技術	大規模言語モデル（GPT系）、画像認識（Vision OCR）、宗教法人会計エンジン、承認ワークフロー（Human-in-the-Loop）、マルチテナント
「日本初」の位置づけ	AIが宗教法人の裏側事務（徴収→会計→決算→所轄庁提出）を一気通貫で自動運営する仕組み（※当社調べ）
料金・提供	本体 月額10,000円（税別）。今回の機能は本体の拡張として提供。提供地域：全国。
提供元	株式会社菩提樹（愛知県小牧市）。代表・中澤一洋は浄土真宗の僧侶（著書『煩惱だらけで、生きていく』）。

4. この取り組みが向き合う、社会的な論点

- 宗教法人の“知られていない”法的義務と過料リスク —— 全法人が対象なのに知られていない提出義務。制度と現場のギャップ。
- 2040年に向けた寺院の存続と、テクノロジーの役割 —— 消滅の推計が語られるなかで、DXは何を変えられるのか。
- AIエージェントの社会実装 —— 単なる“業務効率化”ではなく、“運営そのもの”をAIが担う一例。
- 当事者（現役僧侶）が開発する意味 —— 宗派の作法や“不吉な語を避ける”配慮など、当事者ならではの設計思想。
- お金をめぐる住職の負担 —— 「言い出せない徴収」と、未納から無縁化へと続く連鎖を断つ仕組み。

5. 用語ミニ解説

護持会費（ごじかいひ）

寺院の維持・運営のために檀家が納める会費。墓地管理費と並ぶ主要な収入。

所轄庁（しよかつちょう）

宗教法人を所管する行政庁。原則、主たる事務所所在地の都道府県知事。

年忌法要（ねんきほうよう）

一周忌・三回忌…と続く、故人の追善供養の法要。

過去帳（かこちょう）

寺院が檀家の故人（戒名・命日など）を記録する帳簿。

檀家（だんか）

6. お問い合わせ・補足

- 実機のご案内や、画像・図版のご提供も可能です。
- 開発の背景、宗教法人の会計・提出義務の実情、寺院の後継者問題など、詳細は下記までお気軽に。

お問い合わせ

株式会社菩提樹 広報担当

E-mail：info@bodaijyu-web.jp

サービスサイト：<https://ai.bodaijyu.jp> ／ 会社サイト：<https://bodaijyu.jp>

会社概要

会社名	株式会社菩提樹
代表者	中澤 一洋（浄土真宗僧侶）
所在地	愛知県小牧市小牧原1-329
設立 / 資本金	2007年 / 300万円
事業内容	寺院向けDXサービスの企画・開発・運営

※本資料の数値は、公開資料に基づく参考値です。最新の一次情報は各出典（文化庁『宗教年鑑』・宗教統計調査、國學院大学 石井研士教授の分析等）でご確認ください。

※法令の記述は宗教法人法および文化庁「宗教法人のための運営ガイドブック」に基づきますが、個別の適用は所轄庁・専門家にご確認ください。

※「日本初」は“AIが宗教法人の裏側事務を一気通貫で自動運営する仕組み”に限定した当社調べの位置づけです。

※料金・稼働状況・提供形態は今後変わる場合があります。